



十和田バラ焼きでまちを元気に!

バラ焼きフォーラム2010inとわだ

7月10日、富士屋グランドホールで十和田商工会議所青年部(稲本修明会長)が主催するバラ焼きフォーラム2010inとわだ「第1回全国バラゼミ校長会」が開催されました。フォーラムでは、B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリを開催している愛Bリーグの俵慎一事務局長が「ワンコインで数百億円の経済効果! B級グルメが地域を変える」と題して基調講演を行ったほか、県立三本木農業高校生活科の生徒による三農バラ焼きガールズが健康向上と地域の活性化を目的に研究している「ヘルシー&ビューティ」新バラ焼きのたれについて発表。次に、十和田バラ焼きを応援する全国のバラゼミ校長によるパネルディスカッションが行われ、食によるまちおこしについて各地の事例や体験談などを交えながら語り合いました。

9月18日・19日に神奈川県厚木市で開催されるB-1グランプリに「十和田バラ焼きでまちを元気に」を合言葉に活動する十和田バラ焼きセミナーの出場が決定しており、会場の参加者は十和田の食文化やまちをPRする絶好の機会になると盛り上がりを見せていました。



三農バラ焼きガールズの発表 県内外から約130人が参加



パネルディスカッションでは愛Bリーグ事務局長の俵一さんがコーディネーターを務め、富士宮やきそば学会長で愛Bリーグ理事長の渡辺英彦さん、バラゼミ大阪校長の熊谷真菜さん、バラゼミ東京メディアカレッジ校長の佐竹登さん、バラゼミくまがた校長の豆津橋渡さん、十和田商工会議所専務理事の櫻田一雅さんがパネラーを務めました

JR七戸十和田駅と十和田湖畔を結ぶ

十和田奥入瀬まるごとシャトルが発車!

7月16日に、十和田市駅西側駐車場で「十和田奥入瀬まるごとシャトル」の出発セレモニーが開催されました。このシャトルバスは東北新幹線全線開業に伴う2次交通の整備を図るために、市からの委託事業として十和田観光電鉄株式会社がJR七戸十和田駅から市内を経由して十和田湖畔の休屋地区間を運行するものです。

セレモニーには、市や県、近隣市町村、観光協会、報道機関などが出席。十和田観光電鉄株式会社の白石鉄右門取締役営業部長が「県内をはじめ、県外からのお客様にご利用いただき、喜んでいただけるよう努力したい」とあいさつ。続いて、シャトルバス運転手の木村晋逸さんと車中で接客や観光案内を行うアテンダントの越後麻衣子さんが交通安全を祈願して「安全・安心を心がけます」と宣言しました。

出席者を代表し、6人によるテープカットが行われたあと、バス2台はセレモニーの参加者を乗せて十和田湖畔へ出発しました。シャトルバスは東北新幹線全線開業前は十和田市駅が発着場所となり、休屋地区まで1日3往復運行されます。

安全に楽しい旅になるように私達のご案内します



アテンダントの皆さん



運転手とアテンダントによる宣言



テープカット参加者(左から)桜田雅章十和田商工会議所事務局長、大平均七戸副町長、小林巧一青森県上北地域県民局長、小久保純一副市長、奥義勇社団法人十和田湖国立公園協会事務局長、白石鉄右門十和田観光電鉄取締役営業部長



農家の娘が恩返し

ニンニク短期留学in十和田

7月4日・5日、ニンニクを愛する人たちで結成する「ニンニククラブ」がニンニク短期留学in十和田を開催しました。ニンニククラブ代表の川嶋綾子さんは市内の専業農家出身で現在、東京都内に在住しており、これまで育ててくれた十和田市に恩返しをしたいとニンニククラブを結成。短期留学には、ニンニク料理に興味を持つ飲食店や出版社に勤める20代、30代の5人が参加し、上北農産加工農業協同組合の工場見学やニンニクの収穫体験をとおして十和田市の農産物に理解を深めました。



ニンニク畑で収穫を体験する参加者

とわだストリートフェスタ2010.6

50mの長いのり巻き作りに挑戦

6月27日、旧国道4号八丁目街区で七八丁目商店街振興組合(吉田和雄理事長)が主催するとわだストリートフェスタが開催されました。会場では50mの長いのり巻き作りが行われ、親子連れなど200人が「よーい始め」の合図で一斉に巻き上げ、出来上がったのり巻きをおいしそうに食べていました。また、北里大学の北里三源色によるよさこい、ジャグリング、ギター演奏などが行われたほか、焼きそば、かき氷の出店が連なり、会場はにぎわいをみせていました。



200人が参加したのり巻き作り

十和田湖畔で楽しい思い出づくり

宇樽部キャンプ場で野外フェスティバル

6月26・27日、宇樽部キャンプ場で株式会社ノースビレッジが主催する「UTARUBE RAINBOW CAMP - TOWADA MUSIC FESTIVAL -」が開催されました。このフェスティバルは、キャンプと生演奏、野外体験をとおして、湖畔の自然の素晴らしさをより多くのかたに味わっていただくものです。昼夜をとおして31組のアーティストによる野外ライブのほか、カヌー体験やキャンプファイヤーなどが行われ、来場者は十和田湖の自然を満喫しながら楽しい思い出を作っていました。



キャンプ場で行われた野外ライブ

三農植物科学科の生徒が花植え

中央病院の環境美化に取り組みました

6月25日、県立三本木農業高校(遠藤智久校長)植物科学科2年生29人が中央病院の花壇に約1,100本の草花の苗を植えました。植えた花はサルビアやマリーゴールド、ペゴニアなどで、授業の一環として3月から生徒が実習用のビニールハウスで種をまいて育てたものです。

生徒は、病院を訪れる人が少しでも明るい雰囲気を感じるようにと願いを込めながら正面玄関や北側駐車場周辺の花壇に植えていました。



みんなで手分けしながら行った花植え